## 【家庭教育支援チーム】

## (1)活動主体(チーム)について

①チーム名 (呼称)	つがる市家庭教育支援チーム (呼称:つがる絆プロジェクト)
②活動拠点	つがる市生涯学習交流センター「松の館」
③活動範囲	つがる市内全域
④組織体制	<u>11 人</u> 子育てサポーター 10人、教育委員会職員 1人
⑤活動開始年度	平成24年度
⑥問合せ先	(部署·氏名等) 工藤美穂 (TEL) (E-mail)tugarumamasunangels@gmail.com

## (2)活動内容について

①活動形態 (複数チェック可能)	図保護者等への学びの場の提供 図保護者等への地域の居場所づくり □アウトリーチ型家庭教育支援(※保護者の居場所に出向いて届ける支援) ■ □自宅に届ける支援(情報提供、相談対応等) □保育所・幼稚園・学校等に届ける支援(情報提供、相談対応等) □その他の保護者に届ける支援(情報提供、相談対応等) □その他()
②活動対象 (複数チェック可能)	<ul><li>☑乳幼児 ☑小学生(低学年) ☑小学生(中学年) ☑小学生(高学年)</li><li>☑中学生 □高校生以上</li><li>の子供を持つ保護者に対する活動を実施</li></ul>
③活動内容	【具体的な活動内容】 ・「mama's カフェ」の実施(クラフト展、子育てに関する情報交換等) 子育て中のママの頑張りを応援する場の提供をねらいとして、月6~8 回、地域のショッピングセンターにおいて「mama's カフェ」を実施している。子育て中のママによるクラフト作品の発表の場であるとともに、気軽に

	親子や友人同士で立ち寄ることができ、子育てに関ったちの仲間づくりの場となっている。	する情報交換やママ
	・「はっぴーすまいるラボ」の開催(発達障がいについての各発4月と10月の年2回、発達障がいについての啓発で悩みを持つ保護者等への憩いの場の提供をねらいピングセンターにおいて、イベント「はっぴーすまいる。発達障がいを抱える子どもや大人が制作した絵についての情報提供、切り絵体験や似顔絵教室などしめるワークショップの他、発達障がいを持つ子どものにも応じている。	と発達障がいについいとして、地域のショッるラボ」を開催していの展示、発達障がいる子どもも保護者も楽
	・「がっぱど」の開催(多世代交流サロン、情報交換、おる つがる市社会福祉協議会、つがるおもちゃ病院と連 日に、地域の温泉施設を会場に、おさがり交換会を 多世代との交流を図っている。	携し毎月第三日曜
	・「つながる!つがる笑顔まつり」の開催(地域交流イベータくの世代が楽しみながら交流を図れるよう、「つままつり」を年1回開催している。令和5年度は、視覚を設け、子ども達が目からの情報で、集中力を向上さいがを行った。 また、おもちゃ病院や子育て世代の学びの場の提図っている。	ながる! つがる笑顔 レーニングコーナー せるビジョントレーニ
<b>④活動の成果</b> (活動実績がある 場合)	<ul> <li>参加者からは、子育てに関する有益な情報を得ることを交流すること、同じような悩みを持つ方と悩みを共存に前向きになることができたという意見が多く聞かれて</li> <li>活動をとおして知り合った人達が悩みを共有し、解認って探す等、悩みをひとりで抱え込まず気軽に相談でた。</li> </ul>	することで、子育て いる。 決の糸口を一緒にな
<b>⑤活動財源</b> (複数チェック可能)	□文部科学省補助事業(事業名: □文部科学省委託事業(事業名: □厚生労働省事業(事業名: □地方公共団体単独事業として実施 ☑特段の予算措置はない(自主的に活動を実施) □その他の支援により活動を実施 (	) )